

日本ピア・サポート学会

第23回研究大会・下関大会 2次案内

ピア・サポートから拓かれる未来

～学びの多様性と相互に成長する場の構築～

日本ピア・サポート学会第23回研究大会は、初の山口県下関市での開催となります。内容は、これまでの研究・実践発表、研修委員会企画WS、大学生交流会に加え、新たな企画として、自主シンポジウム、ポスター発表など、参加者相互がふんだんに学び合う機会を設定しております。多くの皆さまにご参加いただき、共に学び考え、充実した研究大会にしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

期日：2025年10月11日(土)～12日(日)

主催：日本ピア・サポート学会

主管：日本ピア・サポート学会下関大会実行委員会

後援：下関市立大学、日本学校教育相談学会、山口県教育委員会、
下関市教育委員会、北九州市教育委員会

会場：DREAM SHIP (下関市生涯学習プラザ) 下関市細江町3丁目1番1号

1. 大会日程

1日目 10月11日(土)

13:00～13:30	13:30～13:50	14:00～18:15	18:15	19:00～21:00
受付	開会行事 会長挨拶 大会委員長挨拶 来賓祝辞 学会賞表彰式 事務連絡	第23回下関大会企画シンポジウム テーマ「ピア・サポートが主体的 学習者の育成に果たす役割」 ・基調講演(14:00～15:00) ・シンポジウム(15:15～18:15)	1日目終了 移動 (徒歩)	情報交換会

※同時開催 15:15～17:15 大学生交流会

2日目 10月12日(日)

9:00～9:30	9:30～12:30	12:30～14:00	14:00～17:45
受付	ワークショップ	昼食休憩	研究・実践発表・自主シンポジウム 各分科会で諸連絡ののち流れ解散

※同時開催 9:30～17:00：ポスター発表・展示

A：14:00～14:35 15:20～15:55/B：14:40～15:15 16:00～16:35

※今大会より、参加費が改定されます。早期申し込みなどもございますので
6頁の大会参加費の項をよくご覧ください。

2. プログラム概略

□大会企画シンポジウム

テーマ：「ピア・サポートが主体的学習者の育成に果たす役割」

基調講演：バーンズ亀山静子氏（北海道教育大学 未来の学び協創研究センターUDLラボ）

シンポジスト：バーンズ亀山静子氏、川俣智路氏（北海道教育大学 未来の学び協創研究センター）、
実践者2名

指定討論者：栗原慎二氏（広島大学名誉教授）

企画・コーディネーター：中林浩子氏（下関市立大学 教養教職機構）

企画趣旨 基調講演では、ピア・サポートとUDLに造詣が深い講師を迎え、学習者の主体性を育む意義を、理論や事例を交えて語っていただきます。多様な学びを尊重し、学習者としての真の成長とは何かを問いかけ、仲間と支え合う中で生まれる学びへの意欲、そして安心できる場と意欲が互いに作用する関係性についても触れ、続くシンポジウムでの議論を広げるきっかけとします。

シンポジウムでは、仲間同士の支え合いを通じて多様な学びを尊重し、主体的な学びを支える学習集団の在り方を考察します。これから私たちが向き合う、立場や考えの違う人たちと協働し、よりよい解決策を見つけ出していく未来を創造的に生き抜くためには、主体的に学び、考え、挑戦できる力を育てるとともに、互いの違いを理解し合い、安心して意見を交わし、共に成長できる感性やスキルを養うことが欠かせません。ピア・サポートは、そうした学びの土壌を豊かにし、一人ひとりの可能性を広げる鍵となります。本シンポジウムでは、実践と理論の視点を手がかりにその可能性を見つめ、参加者の皆さんと未来を拓く学びの場のあり方を考えていきたいと思えます。

□大学生交流会

第12回大会から実施した「大学生交流会」を開催します。大学生・大学院生であれば、どなたでも参加できます。大学におけるピア・サポートについてや「大学生の私たちにできること」など、大学生ならではの交流ができます。大会企画シンポジウムと重なる時間帯の開催となります。

ファシリテーター：松田優一氏（関西大学）

大学生交流会は、大学においてピア・サポート活動に取り組んでいる学生はもとより、大学におけるピア・サポートに興味・関心がある皆様を対象に開催します。

和やかな雰囲気の中、日々の活動の共有はもちろん、「ピア・サポートとは何か？」「より良い活動のためのマネジメントは？」「ピア・サポートでどのような未来を実現できるか？」など現状の課題の共有にとどまらず前向きに語り合える場として企画します。ピア・サポート学会ならではのアカデミックな語りを是非お楽しみください。多くの仲間と繋がれること間違いなし！是非お気軽にご参加ください。

（※主に学生対象ですが、ピア・サポート担当教職員の方の見学も可能です）

□情報交換会

参加者の懇親を深めるため、1日目の夜に情報交換会を開催します。どなたでも参加できます。当日の参加も可能ですが、できるだけ事前にお申込みください。なお、参加費は、当日集めます。会場は、JR下関駅に隣接しており、大会会場やホテル等へのアクセスも容易です。

会場：シーモールパレス 下関市竹崎町四丁目4番8号 TEL（083-231-7000）

会費：7,000円 *大会当日受付で集めます。（お釣りのないようにご準備ください。）

□ ワークショップ

研修委員会企画のワークショップです。これまでに事後アンケート等に寄せられた皆様からのご要望と大会テーマ等を踏まえ、多様な切り口から学べる6つのワークショップを開催いたします。今回は、会場の関係で、各ワークショップの参加人数を30名までとさせていただきます。30人満席になると、そのWSへの申し込みができません。お早目にお申し込みください。

ワークショップ1「ピアを育む傾聴講座」

講師：矢代 幸子 氏（宝仙学園スクールカウンセラー・JPSAピア・サポートコーディネーター）

みなさんは「聴いてもらえた」「わかってもらえた」という、どんな経験をお持ちですか。その実感はみなさんにとってどんな意味を持ちましたか。

不登校に関する各種調査結果には「先生にもっと話を聞いてほしかった」という、生徒や保護者の声が併記されています。先生方は一生懸命聞いているはずなのに……。このようなズレはどうして生じるのでしょうか。

このワークショップでは『ゴードンメソッド』をもとに、援助的な聴き方とは「いつ聴くのか」、「どのように聴くのか」を整理しながら、このようなズレの正体に迫っていきます。講義よりも演習を中心としたワークショップです。

各自が各自のピアを育む当事者であるという認識の深まりを目指しつつ、「傾聴」の持つ力またはその意義を一緒に体感しながら、考えていきましょう。

ワークショップ2「学習・学級集団づくりのためのデータ活用 基礎講座」

講師：川俣 智路 氏（北海道教育大学 未来の学び協創研究センター）

ピア・サポートや学習支援、学級づくりの実践を振り返る際、「この取り組みにどれほどの効果があったのか」「課題が見えるが、どう改善すればよいのか」と悩まれることはありませんか。こうした問いに答える手がかりとなるのが、“データ”を活用した実践の見直しです。統計や数値処理が難しいと感じる方も多いかもしれませんが、現場で役立つデータの扱いには、高度な専門知識は必ずしも必要ではありません。このワークショップでは、教育実践に即した視点で、「何がデータになるのか」「どう集め、分析し、実践にどう活かすか」について、基礎的な内容を具体的な事例とともに丁寧に学んでいきます。後半では、参加者同士で日頃の実践を共有しながら、データ活用の可能性を共に探ります。現場に根ざした学びを深めたい先生方のご参加をお待ちしています。

ワークショップ3「主体的な学習者を育てるUDLとピア・サポート」

講師：バーンズ亀山 静子 氏（北海道教育大学 未来の学び協創研究センターUDLラボ）

学びのユニバーサルデザイン（UDL）は、障害の有無にかかわらず、すべての学習者が学ぶことができる授業概念の枠組みです。情報の取り入れ方、知識やスキルの表出の仕方、取り組み方から障壁となるバリアを取り除くだけでなく、学びやすくするためのサポートを提供し、学習者が自分で学びを舵取りできることを目指します。ゴールは学習者エージェンシーです。そして私たち教師の役割は、彼らがそれを実現できるための学習環境整備をすることであり、伴走することです。

アメリカではインクルーシブ教育を推進してきましたが、その実現に効果的なものとして、全校アプローチで行うUDLがPBISも含む多層支援システムと共に挙げられています。

ピア・サポートを推進してきたこの学会の皆さんは、ずっと子どもたちの力と自主性を信じ、促進してきました。それを学習の側面からも考えることで、子どもたちのトータルな成長を育むことにつなげていきませんか。

ワークショップ4「社会心理学からみたピア・サポート 若者の孤独・孤立調査より」

講師：中島健一郎 氏（広島大学大学院人間社会科学研究科心理学プログラム、教育データサイエンスプログラム兼任）

人には他者とのつながりを築き、維持したいという欲求があります。孤独や孤立はこの欲求の充足を害します。これが続くことで精神的健康だけでなく身体的な健康のリスクまで高まります。このような孤独や孤立の問題は若者において顕著との報告もあることから、中島を含め、学校教育に携わる人々にとって孤独・孤立は無視できない問題です。

今回のワークショップは、若者の孤独・孤立を理解し、組織としてどのような対応を行うべきかを参加者の方々と一緒に考える機会としたいと考えています。その題材として昨年度実施した調査から、大学入学前後の約3か月間の縦断調査と、ある大学全体で実施した全数調査の結果を紹介します。

これらの報告を踏まえると、大学新入生の孤独・孤立を予防するうえで、学生同士の縦のつながりや、学生と教員とのつながり、ひいてはピア・サポートが重要なことが示唆されます。しかし、同時に「今まで通りではうまくいかない、いなくなる」ことも懸念されます。この点を参加者の方々と共有しつつ、それぞれの経験則を紡ぎながら、どのような対応を行うべきか、その道筋を一緒に考えていきたいと思っています。なお、WSでは、資料の共有や意見の交流にPadletを使用する予定です。

ワークショップ5「自殺予防とピア・サポート 学校を拠点とした包括的な取り組み」

講師：シャルマ 直美 氏（北九州市スクールカウンセラー）

北九州市では全市立学校において、配置されたスクールカウンセラー（SC）が講師となって自殺予防教育についての教職員研修を行い、先生方とSCとで自殺予防教育を行なっています。先生とSCとで授業を行うだけでなく、日常の教育活動の中に自殺予防教育の視点が盛り込まれることで、「学校文化の一部になる」ことを目指しています。その自殺予防教育の中では「相談すること」や「支え合うこと」について取り上げています。

児童生徒が相談し支え合う「ピア・サポート」は、互いに信頼し合うことやあたたかい関係性が前提となります。互いの信頼や良好な関係性は、まさに日常の教育活動において、日々の時間の積み重ねの中で育まれていくことです。そういう意味で、「ピア・サポート」は、「日常の包括的な取り組み」の在りようによるものと言えます。ワークショップでは、「日常の包括的な取り組み」についてご参加のみなさまと一緒に考えたいと思います。よろしくお願いいたします。

ワークショップ6「子どもの関係世界と修復的アプローチ」

講師：栗原 慎二 氏（広島大学名誉教授）

いじめや暴力行為などの問題が深刻になっています。こうした問題が起これないようにするにはどうしたら良いのでしょうか。例えば温かい人間関係を作ることがその予防になると考える人たちがいます。しかし人間関係をつくる能力と、人間関係トラブルを解決する能力とは違います。つまり、温かい人間関係をつくるだけではトラブルを回避することはできないし、生じてしまったトラブルを解決することもできません。

では、対人関係のトラブルを起こさない子供たちを育てる、たとえ生じたとしても解決できる子供たちやコミュニティーを育てるにはどうしたら良いのでしょうか。

本講座では、実際に起こってしまったトラブルにはどのように対処すれば良いのか、と言うことを体験的に学習すると同時に、その背景にある考え方や予防的活動について学んでいきます。

□ポスター発表

研究や実践の発表・交流の場として、ポスター発表を開催します。ポスター掲示は、多くの方に見ていただけるよう、記載の時間帯で行いますが、発表者の在席責任時間を設定しています。発表要件やエントリー方法については、後ページをご確認ください。

□研究・実践発表（分科会方式）

1 発表35分（発表20分＋質疑応答及び座長からのコメント15分）× 6 展開、移動 5 分とします。分科会の発表は、6 領域別に対面で行います。同時進行で自主シンポジウムを開催しますので、発表会場数の関係でエントリー数上限に達した時点で締め切る場合もあります。発表をお考えの方は、お早めにお申し込みください。なお、本大会から、発表要件やエントリー方法がこれまでと変更になっております。後ページをご確認ください。

□自主シンポジウム

本大会から実施します。会員が自主的にテーマを設定し、企画者が出演者（司会者、話題提供者、指定討論者など）を決め、シンポジウム形式で研究発表や討論をするものです。時間は105分（休憩含む）。研究・実践発表の時間帯に同時並行で開催します。発表会場の関係で、エントリーが多い場合は、抽選になることもあります。発表要件やエントリー方法については、後ページをご確認ください。

●会場案内

DREAM SHIP 下関市生涯学習プラザ

下関市細江町3丁目1番1号

- ・ JR下関駅北口から徒歩10分
- ・ JR下関駅東口からサンデン交通「細江町バス停」下車 徒歩3分 他



交通・宿泊ともに、早割がお得です!!
みなさまのご参加を心からお待ちしています。



3. 大会参加費と大会参加申込方法

大会参加費を全日程参加と部分参加に分けてご案内します。

(1) 大会参加費

【全日程参加の場合】

	早期申込期間 2/15～7/31	一般申込期間 8/1～10/9
本学会員	7,000円	8,000円
本学会員以外	8,000円	9,000円
大学生・大学院生 (社会人院生の方は除く)	1,000円	2,000円

【部分参加の場合】

	早期申込期間 2/15～7/31	一般申込期間 8/1～10/9
大会企画シンポジウム(一般/学生)	4,000円 / 2,000円	5,000円 / 2,500円
ワークショップ(一般/学生)	3,000円 / 1,500円	4,000円 / 2,000円
口頭発表・自主シンポジウム・ポスター発表(一般/学生)	3,000円 / 1,500円	4,000円 / 2,000円
大学生交流会(学生のみ)	無料(参加登録が必要です)	

* 部分参加の場合は、会員・非会員の別はありません。

(2) 大会参加申込方法

右のGoogleフォームにてお申込みいただき、参加費は下記口座へお振込ください。

●大会参加申込 URL <https://forms.gle/EXtcn3aSq4x2tgoA9>

●参加費振込先情報【ゆうちょ銀行】

①ゆうちょ銀行以外からお振込みの場合

【店名】四三八(読み ヨンサンハチ)

【店番】438

【預金種目】普通預金

【口座番号】9746536

②ゆうちょ銀行からお振込みの場合

【記号】14380

【番号】97465361

【口座名義】ニホンピアサポートガッカイ



※振込手数料は、ご自身でご負担ください。

※早期申込は7/31(木)23:59までに申込および振込を完了する必要があります。7/31(木)を過ぎた場合は、早期申込はキャンセルとなりますので、8/1(金)9:00以降、再度一般料金にて申込が必要です。

※一般申込は10/9(木)までに申込および振込を完了する必要があります。10/9(木)を過ぎた場合は、申込がキャンセルとなります。

※一度入金された諸費用の返金はありませんので、ご了承ください。申込者ご本人の出席ができなくなった場合は、代理の方の出席が可能です。

4. 問い合わせ先

* 研究・実践発表のエントリー、参加申込に関するお問い合わせ

→ 下関大会実行委員会 jpsa.2025shimonoseki@gmail.com

* 発表原稿送付及び原稿作成に関するお問い合わせ(原稿の提出先ではありません。)

→ 研究紀要委員会 peer.genkou@gmail.com

5. 研究・実践発表およびポスター発表・自主シンポジウム

【発表費用（1発表ごと）について】

	会員（責任者、連名者、企画者）	会員以外（連名発表）	会員以外の学生（連名発表）
研究・実践発表	無料	5,000円（1人あたり）	2,500円（1人あたり）
ポスター発表		3,000円（1人あたり）	1,500円（1人あたり）
自主シンポジウム			

* 自主シンポジウムの企画は、**本学会の会員のみが行うことができます**。ただし、企画趣旨に基づき、話題提供者や指定討論者が決まるため、会員以外でも発表費はかかりません。

* 発表責任者は、**本学会の会員で、2025年度までの年会費を納めている方**に限ります。なお、連名で発表する会員も、2025年度までの年会費を納めている必要があります。

* 口頭発表、ポスター発表に会員以外の連名発表者がいる場合は、**責任者が発表費を取りまとめて、申込とともにお支払いください**。

【発表回数について】

	研究・実践発表		ポスター発表		自主シンポジウム	
	責任者	連名者	責任者	連名者	企画者	登壇者
会員	1回	制限なし	1回	自主シンポジウムと合わせて3回まで	1回	ポスター発表と合わせて3回まで
非会員	—		—		—	
会員学生・院生	1回		1回		1回	
非会員学生・院生	—		—		—	

* 自主シンポジウムの登壇者とは、話題提供者・指定討論者・司会者（ファシリテーター）を指します。

* 同一の研究実践についての発表は、2発表までとします。

【発表方法について】

A. 研究・実践発表、ポスター発表

(1) 発表方法（研究・実践発表およびポスター発表）

研究・実践発表	ポスター発表
申込時に、以下より発表領域を選択してください。 ア. 学校（幼・小・中・高・特支・高専・大学等） イ. 行政 ウ. 福祉・医療 エ. 企業 オ. 地域・コミュニティ カ. その他	
発表は、口頭発表としますが、プレゼンテーション、映像機器などの使用は、発表者にお任せします。発表に必要なパソコンは、各自でご用意ください。	発表内容をポスター形式で掲示し、質疑に対する応答をします。ポスターを掲示するパネルの大きさは、横95センチ×縦190センチです。
1 実践 1 発表35分 発表20分＋質疑応答及び座長からのコメント15分	11日(土)は、14:00～16:00の時間帯に展示可能です。 ポスター発表・展示は、12日(日) 9:30～17:00です。 在席責任時間 12日(日) ポスター番号奇数（A）：14:00～14:35/15:20～15:55 ポスター番号偶数（B）：14:40～15:15/16:00～16:35 その他の時間帯は、在席する必要はありません。 在席時間に発表を行った場合、実績として認められます。

(2) 発表要件（研究・実践発表及びポスター発表）

- 1) 連名で発表する場合は、発表者のうちの一人を「発表責任者」とし、他の連名の方を「連名発表者」とします。一人で発表する場合は、そのまま発表責任者となります。
- 2) 会員でない連名発表者が会期を通してシンポジウム・ワークショップ・研究発表等に参加する場合は、発表費用に別途参加費が必要です。（3. 大会参加費と大会参加申込 を参照）
- 3) 複数の発表を申し込まれた場合、プログラム編成の都合から、連名発表者の発表時間が重なることもありますので、あらかじめご了承ください。
- 4) 発表責任者が発表できなくなった場合は、現地大会実行委員会へ連絡してください。その場合、連名発表者が会員であれば、代わりに発表することができます。会員でない連名発表者が代わりに発表する場合には、発表までに入会の手続きを完了してください。発表責任者と連名発表者が共に発表できない場合は、発表取り下げとなります。

* 参考（入会申込）入会費：3,000円・年会費：5,000円



<http://www.peer-s.jp/admission.html>

B. 自主シンポジウム

(1) 発表方法

- 1) 自主シンポジウムは、105分（休憩時間を含む）、テーマ設定は自由です。
- 2) 企画者、司会者（ファシリテーター）、話題提供者、指定討論者全員が会場に来て、対面での実施を原則とします。発表に必要なパソコンは、各自でご用意ください。
- 3) やむを得ず、一部オンラインによる登壇者がいる場合は、来場する関係者で機器等の準備・設定を行ってください。大会側は対応することができません。
- 4) 自主シンポジウムに対応できる部屋数に限りがあるため、エントリー数によっては、抽選の上決定します。抽選に外れた場合は、オンデマンド発表が可能です。あらかじめご了承ください。

(2) 自主シンポジウム発表要件

- 1) 自主シンポジウムは、企画者が企画趣旨に基づき、司会者（ファシリテーター）、話題提供者、指定討論者等を決めるため、登壇者は会員に限定しません。
- 2) 自主シンポジウムは、企画者がお申し込みください。申込は1人各1題に限ります。
- 3) 会員でない司会者・話題提供者・指定討論者等が会期を通してWS・研究大会等に参加される場合は、別途参加費が必要です。（3. 大会参加費と大会参加申込 を参照）

6. 大会発表論文集について

大会発表論文集に掲載する原稿の体裁等は、研究紀要委員会が示す大会発表投稿規程の通りです。提出期限は、2025年7月31日（休）正午までです。発表申込後、各自で学会HPにアクセスし、第23回研究大会・下関大会の【大会発表論文集執筆について】のリンクから、①～⑤を確認の上、期日までに執筆・提出してください。

①研究倫理ガイドライン

②大会発表論文集投稿規程・執筆要項

③大会発表論文集原稿作成上の注意

④大会発表論文集テンプレート（研究・実践発表用）

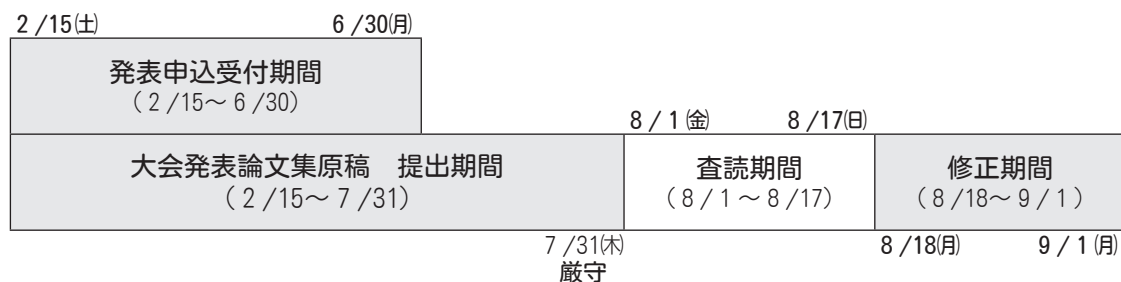
⑤大会発表論文集テンプレート（自主シンポジウム用）

* ポスター発表は、申込時の発表者・発表テーマ・概要等を掲載させていただきます。

日本ピア・サポート学会
ホームページ（研究大会ページ）QRコード



7. 発表申込の流れ



注) 発表申込のGoogleフォームには、以下の必須項目にチェックが必要です。

☐ 2025年度年会費を支払っています。

☐ 大会参加費は、6 / 30 (月) までに支払います。 ☐ 支払い済 ☐ 支払予定

☐ 連名発表者の発表費は、6 / 30 (月) までに支払います。 ☐ 支払い済 ☐ 支払予定

☐ 虚偽の申告をした場合は、発表が取り下げになることを承知しています。

8. 発表申込の手続き

研究・実践発表（口頭発表）・ポスター発表・自主シンポジウムは、所定のGoogleフォームに必要な事項を入力の上、Webでお申し込みください。以下のQRコードもしくは日本ピア・サポート学会HP「第23回研究大会下関大会」からお申し込み可能です。発表申込フォームから、大会参加申込もできるようになっています。

●申込期間 2025年2月15日(土)～6月30日(月) 正午 迄

●申込方法 右のQRコードもしくは学会HPからのWeb申込

URL (<https://forms.gle/9H8nnBMDRejTpAMBA>)



●Web申込送信完了後、申込受付完了の返信が届きます。それをもって申込完了とします。その後は、前述の5.6.を参照の上、大会発表論文集の原稿執筆に取り掛かってください。

●参加費・発表費振込先

参加費・発表費は、Googleフォームに記載されている口座へお振込ください。

※振込手数料は、ご自身でご負担ください。

※発表費および大会参加費は、6 / 30 (月) までに振込を完了してください。6 / 30 (月) を過ぎると、発表申込は、自動キャンセルとなります。発表費は非会員の連名発表者がいる場合に必要となります。(4. 研究・実践発表およびポスター発表・自主シンポジウム を参照)

●大会発表論文集原稿締切 2025年7月31日(木) 正午 迄 (口頭発表・自主シンポジウム)

●提出方法 右のQRコードまたは、学会ホームページよりweb提出

URL (<https://forms.gle/GxxqCLM6r1Z1NgFR7>)



●WordとPDFの2種類をアップロードにより提出してください。

→提出ファイル名：発表種（口頭発表・自主シンポ）＋フルネーム

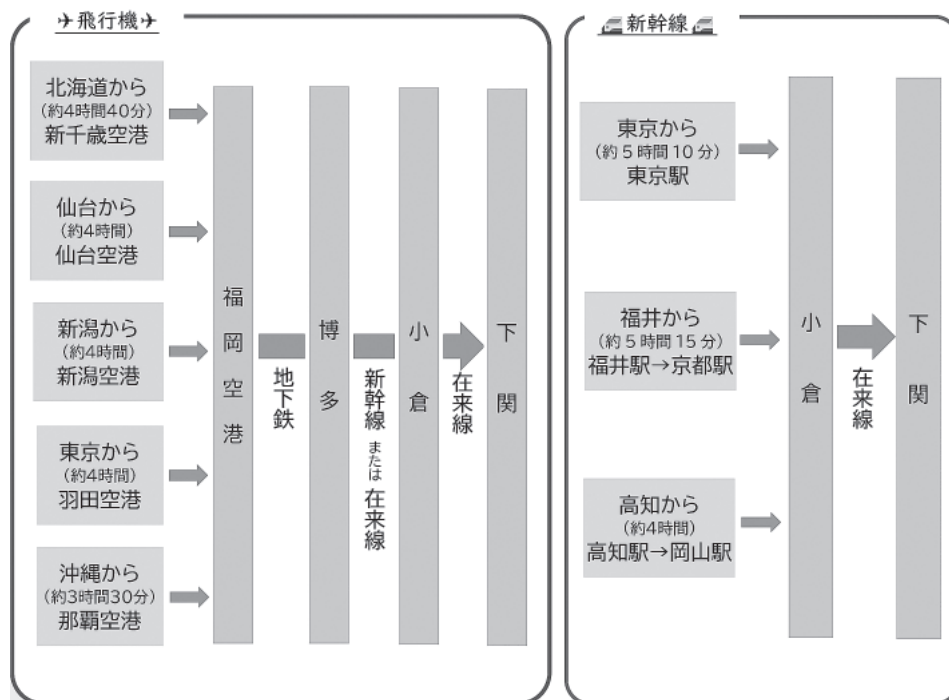
(例：口頭発表 下関 一郎)

9. アクセスと宿泊施設について

本大会では、旅行社等との連携はありません。各自で、交通・宿泊等の手配をお願いいたします。以下に、参考となる公共交通機関のアクセス情報と大会会場・懇親会場に近いホテル等をご紹介します。

●下関までの交通案内（現地から下関までの最短時間）

おいでませ 下関
まっちょるよ～！



* 下関駅、懇親会場近く → 竹崎町

* 大会会場の近く → 東横 INN、ドリーミン、スーパーホテル
いずれも徒歩 10 ～ 15 分圏内です。

●下関宿泊施設

【下関駅、大会会場（生涯学習プラザ）周辺】

宿泊施設名	住 所	電話 (083)
ヴィアイン下関	竹崎町4-2-33	222-6111
ホテルウィングインターナショナル下関	竹崎町3-11-2	235-2111
プリンスホテル下関	竹崎町3-10-7	232-2301
グリーンホテル下関	竹崎町1-16-13	231-1007
スマイルホテル下関	竹崎町4-4-1	233-0111
下関ステーションホテル	竹崎町2-8-11	231-2225
スーパーホテルPremier下関	細江新町3-50	229-9000
旅館割烹 寿美礼	竹崎町3-13-23	222-3191
下関駅西ワシントンホテルプラザ	大和町1-4-1	261-0410
ドリーミンPREMIUM下関	細江新町3-40	223-5489
東横INN下関海峡ゆめタワー前	豊前田町2-7-10	234-1045

【唐戸周辺】

宿泊施設名	住所	電話 (083)
下関グランドホテル	南部町31-2	231-5000
唐戸セントラルホテル	幸町11-1	231-5235